

第33回大阪府公立学校事務研究大会概要

記念講演

○演題

『働き方改革時代の学校事務職員に求められるタイムマネジメント』

○講師

東北大学大学院教育学研究科 教授 青木 栄一様

○略歴

東京大学教育学部卒業、同大学大学院教育学研究科博士課程修了。博士(教育学)。
国立教育政策研究所教育政策評価・研究部研究員等を経て、
2010年より東北大学大学院教育学研究科 総合教育科学専攻准教授、2021年度より現職。
また、兵庫教育大学、放送大学で客員教授。
これまで、コロンビア大学、オックスフォード大学、台湾師範大学で客員研究員を歴任。

○講演の概要

学校における働き方改革「元年」といえる2019年から5年が経ちました。

この間、国・地方自治体・学校が一体となって、各々がそれぞれの立場でできることを進めてきましたが、依然として学校現場での長時間勤務は問題となっています。

その中で、青木教授は「学校事務職員が教員の働き方改革のために犠牲を払うのは本末転倒であり、学校事務職員にも働き方改革は必要である。その上で、学校事務職員を含めた教職員が一体となって安心安全な職場づくりを進め、各自のワークライフバランスを実現し、ひいてはウェルビーイングを高める必要があると考えています。」とめざす方向を示します。

今年度から全小・中学校配置の予算がついた教員業務支援員の運用についても触れていただきます。

問題の渦中にいる私たち学校事務職員にできることは何か、視野を広げて学校の多忙解消を考えることができるよう、新しい発見と知識をご教授いただきます。

○主な講演等

2024年7月22日 教職員のワークライフバランスを取り戻すためにできること

岡山市教育研究研修センター「令和6年度中堅教諭研修講座」

2024年7月1日 教職員のワークライフバランスを取り戻すためにできること

岡山市教育研究研修センター「令和6年度校長研修講座」

2023年12月15日 教職員がいきいきと働けるためのタイムマネジメント

令和5年度 徳島県教育委員会リーダーシップ養成研修

2023年8月1日～11月30日 学校の働き方改革で学校ができること

神奈川県教育委員会管理職育成指針に係る選択受講講座講師

2023年7月5日 学校の働き方改革について

令和5年度学校組織マネジメント研修講師(主催:独立行政法人教職員支援機構)

パネルディスカッション

○テーマ

「豊かな学びを支える共同学校事務室」

大阪の共同学校事務室は、自治体によってさまざまな経緯があり、それぞれ目的や形態が異なっている。また、共同学校事務室等のスタートした時期も自治体によって大きく異なり、20年以上の歴史の中で取り組みが充実している自治体、今まさに取り組みを始めようとしている自治体など様々である。そのような状況の中で、府事研研究部では、来年度の全事研大会で、「学校のカリキュラムマネジメントを支える大阪の共同学校事務室」を提案予定である。研究部では、「業務負担軽減」、「標準化(職務領域、業務量、業務手順)」、「人材育成」「学校経営参画(カリキュラムマネジメントの推進)」の四つの観点から共同学校事務室の研究を試みている。唯一の「大阪の共同学校事務室」の提案を目指すのではなく、それぞれの自治体課題に応じて、それぞれの組織形態や取り組み手法があることを受容しながら、自治体課題に応じた共同学校事務室等のバリエーションを模索していく予定である。

今回のパネルディスカッションでは、共同学校事務室の目的を大きくとらえ、「豊かな学びを支える共同学校事務室」とした。様々な自治体の方にお集まりいただき、それぞれの地域で行われている共同学校事務室等の実践をお話しいただく。それぞれに力の入れどころや、共同学校事務室等を支える制度等は異なるが、各々の自治体の課題を見据え、最終的に子どもたちの豊かな学びにつながる学校や、学校事務職員の取り組みを支える共同学校事務室を模索していることを共有し、議論を深めていきたい。